

2013年2月12日

会員各位

SAM東京支部事務局

2013年3月度例会のご案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東京支部2013年3月度例会のご案内を申し上げます。今回は、東京支部会員の太田精一先生にご登壇いただき、「カメルーン（アフリカ大陸の縮図）に駐在して」をテーマにお話しいただきます。

太田先生は、民間会社を経てジェットロに入職、カメルーン、旧ユーゴスラビア（現セルビア共和国）、チリに駐在され、海外での異文化を体験されました。その時のご経験や国際情勢、歴史などについてSAM会報「SAM NEWS」にご寄稿されておられます。

今回の例会では、①ブラックアフリカは暗黒大陸か、②西欧諸国の植民支配の帰結、③カメルーンはアフリカ大陸の縮図、④カメルーンの社会と文化。経済活動と商習慣。結婚・家族。芸術と宗教などについて体験談をもとにお話しいただく予定です。

つきましては、ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

■日時：2013年3月15日（金） 12:00～13:40

■会場：（財）商工会館 7階会議室

千代田区霞が関3-4-2 TEL:03-3581-1634

■スピーカー：太田 精一先生

【略歴等】：昭和11年5月生まれ。東北大学文学部社会学科卒。民間会社を経てジェットロに入る。カメルーン、旧ユーゴスラビア（現セルビア共和国）、チリに駐在。ジェットロ出版部出版課長、編集課長を歴任。ジェットロ退職後、国際経済交流財団業務部長として各種国際会議を主催。世界の有力企業官庁の上級実務者・研究者などを招聘して対日理解のためのセミナーを開催。国内外での勤務を通じ、人間社会の同質性と異質性を体感し、それを歴史研究に取り入れる。著書『遙かなるカメルーン』彩流社刊。史遊会編『歴史に魅せられて』『歴史のみち草』にそれぞれ「ボスポラスに帝都を」、「大航海時代前後の日本の対外関係」を執筆、彩流社刊。

■テーマ：カメルーン（アフリカ大陸の縮図）に駐在して

■会費：3,000円

■ご出欠：3月8日（金）までにお知らせ下さい。

※お申込後にキャンセルされる場合は、前々日（土日を除く）までにご一報ください。

■次回：4月度例会は4月22日（月）を予定しております。

以上

【事務局】〒158-8630 世田谷区等々力6-39-15

（学）産業能率大学 総務課内（福田）

TEL 03-3704-9046

e-mail:sam@hj.sanno.ac.jp